

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	解剖生理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期 火曜3限	教室名	4校舎502
担 当 教 員	小川 正子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
疾病・病態等を学ぶ上での重要な基礎となる、人体の仕組みと働きについて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
試験粗点100点満点の70%、出席点20点、平常点10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「解剖生理学 人体の構造と働き」羊土社						
《授業外における学習方法》						
日本薬局方・製剤学Ⅰや、病理学と関連する科目です。他の科目と関連させながら、予習復習及び繰り返し学習をしていきましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
医薬品や化粧品の作用、疾病と関連するところは、繰り返し学習し覚えるようにしましょう。また予習復習として、テキストを読みましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞の構造を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する	
		各コマにおける授業予定	細胞と組織			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する	
		各コマにおける授業予定	神経系①			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系の機能について説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する	
		各コマにおける授業予定	神経系②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚と知覚の現象について説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する	
		各コマにおける授業予定	感覚と知覚			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の構造を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する	
		各コマにおける授業予定	消化器系①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の働きについて説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	消化器系②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓、血管系の構造について説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	循環器系①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液、リンパ系、凝固系の機能について説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	循環器系②血液		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管支、肺の構造と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓と尿路系の構造と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	腎・尿路系①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器系の構造と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	腎・尿路系②生殖器系		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨格と筋肉の構成と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	骨・筋肉系		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系の構成と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	内分泌系		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫系の構成と機能を説明できる	テキスト 配布資料	テキストの該当箇所を通読する
		各コマにおける授業予定	免疫系		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医薬品や化粧品の作用が及ぶ解剖と整理についての知識が習得できている	復習の課題	配布資料を見直しておく
		各コマにおける授業予定	全体のまとめと復習		